

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハピスポ堺		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理念(子どもにとって安心な居場所づくり・できた!という体験を重ねる・自分自身の存在が大切にされる)に基づいてのプログラム作り。	プログラムの企画はすべて理念を意識している。結果のみにとらわれず、その過程や子ども一人ひとりの声や気もちに寄り添いながらプログラムを進行。	日常の子どもの状態を観察して、プログラムを作成し児童の発達に合わせ、固定化しないように工夫していく。担当職員が朝のミーティング時、他職員に内容を説明、意見を仰ぐ。
2	SSTプログラム特に気持ちとキョリ(心身の)について	週1以上のSSTプログラムを準備している。その日の子どもや発達に応じて自分も相手も大事するコミュニケーションを核の一つとして分かり易くロールプレイや動画も取り入れ客観視できるように工夫。キョリについても「大事な自分の気もちと身体」を核に身体や心の変化からのアプローチで子ども達に伝えている。	SSTで学んだことを般化させるためにスタッフのかかわりをミーティングや研修で確認・共有していく。日常的にキョリのことを伝える(子どもの身体、持ち物など本人の了解なしに触れない)
3	外出行事(休校日:土曜日・祝日・長期休暇等)の充実。	主に休校日に実施している。外出することで普段見られない子どもたちの力や学びがあり、地域の方々との交流で子どもの可能性も広がっている。主な外出行事:山登り、海水浴、プール、芋ほり、みかん・ぶどう狩り、潮干狩り、プラネタリウム、工場見学・・・など。	外出場の発掘と安全確保のミーティングや振り返りを充実させる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練・BCPの周知	避難訓練では、決まった曜日に行うことが多く受講児童が少ない。長期休暇や、まずは動画などを使い全ての児童に提供できるようにしていく。また、その様子を保護者へも伝えて安心に繋げていく。	BCPの周知は保護者へ災害時の引き渡し方法を各御家庭に配布のだが、事業所の引っ越しがあり内容のご確認が必要。
2	保護者への情報発信	連絡帳では日々の様子や活動について書く事が難しい。地域の小学校が多くまた送迎時間もまちまち。滞在時間が1時間前後の方も多くじっくり書く時間の確保がむづかしい。毎月一回通信は発行しているが、細かい発信がだしきれず。	連絡帳を書くことの充実が難しいが、職員の連携や分かっていることは予めメモに書き「貼る」ことで時短。また、申し送りや電話・lineで報告し、満足と安心に繋げていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和7年11月予定					
ハビスポ堺		利用児童数 27名 令和7年10月20日			回収数 16		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	0	0	4	学習スペースや身体を動かす遊びスペースは確保されている。2階スペースが広い。移転してから見学できていない。	保護者会などの開催で見学の機会を作る。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	0	5	送迎時2名スタッフがいるから安心する。	毎回は難しいが、できるだけご希望に添える対応を今後も検討していく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2	0	3	1階が静、2階が動になっている。	子どもの様子に合わせ適切に配慮していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1	0	4	2階のフラットな空間が良い。	子どもによっては広いことで居心地の悪さを感じる子もいる。広い中でもカーテンや仕切りで個別スペースを作成している。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	0	0	0	傾聴して頂いている。	今後も傾聴と共感を大事にして、成長に繋げていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	0	成長がみられる。	引き続き、子どもの力を信じて支援していく。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	0	子どものことをよく見ている。	デイでの子ども声やサインを察知し、また、保護者との連携を大切にしたい支援計画を作成していく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	0	よく考えている。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1	約束を守るよう継続的な支援をしている。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1	0	0	様々な魅力的なプログラムを考えている。本人に合ったプログラムがあれば参加できるかも。	今後も発達に合わせたプログラム提供を行っていく。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	0	0	7		地域の公園や図書館の利用で交流を図っているが、その様子を通信などで積極的に発信していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	2	0	丁寧な説明があった。	契約時に説明を行っているが、いいえと2名の方がいる。全ての方へきちんと伝えるように伝え方を考えていく。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1	1	1	一度も面談の機会がなかった。書類だけが内容はいつも満足している。	書面や電話・送迎時にお伝えしている事が多い。(保護者のニーズもあり)これからは個々の保護者のニーズに合わせた面談・説明を行っていく。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1	0	2	保護者向け研修に参加させてもらった	保護者会の開催などで情報交換や先輩保護者のリアルな情報や助言がある。このような機会の継続や情報提供を増やしていく。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1	0	1	送迎時や電話で子どもの様子を伝えあっている。本人の気持ち、行動等理解している職員とそうでない職員がいる	引き続き子どもの様子を伝えあいその成長を共有し、安心に繋げていく。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	2	0	気になることがあると伝えさせてもらっている。責任者の方が丁寧に説明している(送迎時)	保護者のニーズや困りごとに耳を傾け相談・面談につなげる。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1	0	0	相談に乗ってもらえています。ラインで説明しても返事がないときがある。	引き続き保護者への共感を安心に繋げていく。ラインの確認と、返事を必ず行い信頼関係を築く。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	3	0	2	保護者会は定期的に開催している。保護者会は参加したことはあるが兄弟向けイベントはまだ。	ハビスポ祭などではご家族の参加を毎年募っているが、参加者が少ない。曜日設定など考慮していく。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	0	1	いつも対応してもらっている。不明なこと電話確認時、不快で辛いことがあった。	引き続き真摯に対応して、ご家族の安心と満足に繋げる。保護者の気持ちを真摯に受け止め、謝罪や次の対応に努めていく。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	1	ラインや電話、送迎時に伝えさせてもらっている。確認事項に不備があった。担当スタッフには適切に対応してほしい。	子どもや保護者が話しやすいよう環境設定、信頼関係を築いていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	0	毎月の通信で取り組みを知ることができている。もう少し利用時の様子がしれたらと。個人的にアプリやインスタで見れたら嬉しい。	自己評価については公表している。インスタやアプリについては個人情報の観点で控えさせてもらっている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1	0	0	毎月の通信では子どもの名前をイニシャルにしているかが心配。	今一度個人情報について、確認と漏れないよう徹底する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	0	5	マニュアルのないようをあまりよく知らない	子どもへは避難訓練・sstプログラム、職員へは研修を実施。その内容を通信などで伝え保護者のニーズにこたえて
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	4	避難訓練はあるが、その曜日の利用がないので参加していないと思う。	どの子どもも参加できるようにしていく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	4	施設見学した際説明があった	全ての保護者へ周知していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	0	危ない行為があったとき電話で迅速に対応していた。同乗児童からつねるなどの行為がありあざを自宅で発見。相手児童への対応(行動を教える)を徹底してもらえると安心です。	引き続き対応して安心に繋げる。事故発生時(子ども同士含む)には加害児童へもしてよい行動を引き続き伝えていく。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1	0	1	いつも楽しみにしている。	すべての子どもに安心もらえるよう理念に基づいた支援を行っていく。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	0	いつも楽しく通っている。イベントの時は特に嬉しそう。前日にはどこに行くのか何をするか必ず聞いてくる。送り時に明日のことを聞くほど楽しみにしている。	引き続き、子どもが楽しく安心できるプログラム提供に力を注いでいく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	2	0	0	いろいろなサポートありがとうございます。おかげで成長している。毎日楽しいと思って通っているのが一番の答え。利用日は安心して利用。フォローもしっかり。感謝と安心感がある。	保護者の期待を裏切らないよう理念に基づき努力に努める。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ハビスポ堺		公表日		R7 年 10 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	広いスペースでは個別空間としてカーテンでその空間をつくっている	事務所の仕切りでは子どもが仕切りを越えて入るときがある。子供への説明とともに扉の工夫が必要(会社へ打診中)	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	急なスタッフの休みでは、非常勤スタッフへ声かけて出勤してもらっている。また、支援方法を工夫(1階のみだ暫く過ごす・みんな遊びの工夫)	急な児童の休み時よりも良い支援ができるようスタッフの配置はそのまま(子どもの数とスタッフがかわらない)あることも多い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	できるだけ響かないようにマットや声の工夫をしている。	2階動の部屋で走る音が響く。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	換気扇を日中つけている。	空気洗浄機ない	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	仕切りで区切っている。またはカーテンで区切っているクルダウンの空間もあり。使っていない時も清潔を保つように心がける(余計なものは置かない)メモや毎日の支援会議で記録として残し、出勤時必ず目を通して		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	2	メモや毎日の支援会議で記録として残し、出勤時必ず目を通してもらっている	非常勤の方は常勤との振り返りはむづかしい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	管理者が直接保護者へ対応している。その報告をその都度職員に伝えていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	チームビルディングなどで勤続年数が1年以上のスタッフの意識の改善に力を入れている。	職員同士気軽に意見交換が(勤続年数などにより)しにくい状況がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	2	会社全体で検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	メールなどで研修の情報は発信している。また、事業所内でも研修担当も決めて実施企画中。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	ホームページで公表		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	支援前には必ず全員でプログラムや企画(支援の目当て等)の共有を行っている。	担当が決まっていてプログラムの立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	その日の児童と発達に応じて作成している		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	ラインや隙間時間を利用して共有している。	非常勤の方は共有時間にずれがあるためむづかしい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	毎日の振り返りでは支援会議も兼ねていて、その都度見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	児発管が現場職員に子どもの状況等詳しく聞き取る。	全体把握の児発管が会議に参加。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	支援相談員や学校、基幹センターの方々との連携をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	保護者や相談員、学校など情報共有必要時は会議や電話で共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3	就学前の施設へはほとんどれんけいは取れていないが、保護者や基幹センターとの連携を強化することで補っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	担当者会議などで共有している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	相談支援員や基幹センターなどその児童をよく知る方々へ助言をいただいたり、研修の参加もしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	近所の公園や地域の図書館、またコンビニエンスストアなどへ買い物や遊びに行くことが多くある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2	連携をもつよう今後行動していく	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時でもできるだけその日の様子を伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	管理者が契約時に必ず行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	支援計画では書面にて【案】をゆっくり考慮していただくようお渡ししている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	上記に保護者さまの提案事項も記入の上、同意もいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	お悩み事項があれば、電話や訪問、また来所していただくこともあります。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	保護者会を2～3ヶ月に1回、またご家族(兄弟含む)行事としてハピスポ祭を開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	管理者が契約時に必ず行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	毎月一回通信を発行している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	写真・ネームなどの流出しないよう確認して通信を配布	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	保護者様の要望をできる限り取り入れるよう検討している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	事業所が引っ越しして間もないが、招待できる企画を検討していく	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	デイでは避難訓練を実施している。その他についても今後周知していく。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	3	BCPは策定済。定期的な訓練をしていく。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2	契約時や連絡帳・電話・lineで確認。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	2	保護者からの(医師を通して)じょうほうによる。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	3	日々のミーティングなどで、確認を行う。安全計画としては、チェック項目の見直しをする。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	災害時の引き渡しや、当日の流れについて配布物をお渡し済	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	ヒヤリハット報告書をのなかに記載。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1			